



2020年2月期第2四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス
(3063)

2019年10月23日



1. 第2四半期連結決算概要

決算ハイライト	-----	4
連結損益計算書概要	-----	5
連結貸借対照表概要	-----	6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	7
セグメント別業績概況	-----	8

2. 第2四半期トピックス

売上高の減収要因	-----	10
既存店収益状況	-----	11
リニューアル店舗は引き続き好調	-----	12
様々な業態が好調に推移	-----	13
6月~8月（第2四半期）で営業損失を大幅に改善	---	14
今期の出店・リニューアル	-----	15
店舗数の推移	-----	16
G-SEVENS 豊田の一括リニューアル	-----	17
かわ屋FC店舗を2店舗出店（総店舗数21店舗）	-----	18

3. 今後の取り組み

今後の方向性	-----	20
不動産流動化による資金調達	-----	21
攻めの投資	-----	22
コスト削減	-----	23
かわ屋出店状況	-----	24
今後の出店・リニューアル	-----	25
大規模プロジェクトが来期稼働へ向けて進行中	-----	26
今期の業績見通し	-----	27



1. 第 2 四半期 連結決算概要



1 売上高は減収・営業損失は横ばい

不採算店舗や契約満了店舗の整理、働き方改革に伴う営業時間短縮、一部の既存店の苦戦等により売上高は前年同期比 94.4% の 7,062 百万円と減収。6月～8月（第2四半期）では営業損失を前期比 49 百万円改善し、第2四半期累計の営業損失は前期並みまで回復。

2 金利スワップの評価損で経常損失を計上

不動産事業における、新規取得物件の長期借入金に付随する金利スワップ契約の評価損が 83 百万円となり、経常損失を計上。

3 リニューアル店舗は引き続き好調

大型店舗など一部の既存店で苦戦しているが、かわ屋を始めとして近年リニューアルを行った店舗は好調に推移。今後のリニューアルへ向けて、新業態も順調に成長を続ける。

連結損益計算書概要



	2019年2月期 第2四半期		2020年2月期 第2四半期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	7,480	100.0	7,062 ①	100.0	94.4
売上原価	2,379	31.8	2,276 ②	32.2	95.7
売上総利益	5,101	68.2	4,785	67.8	93.8
販売管理費	5,132	68.6	4,819	68.2	93.9
営業損失	△31	—	△34 ③	—	—
営業外収益	98	1.3	77	1.1	78.5
営業外費用	55	0.7	145 ④	2.1	260.7
経常利益 または経常損失	11	0.2	△101	—	—
特別利益	40	0.5	14	0.2	36.1
特別損失	14	0.2	1	0.0	8.6
税金等調整前 四半期純利益または純損失	37	0.5	△88	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△20	—	△88	—	—

- ① 店舗整理による店舗数の減少や営業時間の短縮、大型店舗の歓送迎会の減少、前期オープンのかわ屋のオープン景気の反動減などがあり、売上高は前期比 94.4% で減収。
- ② 飲食事業単独での原価率は 28.0% となり、前年同期から変更なく、適切なコストコントロールを実施。
- ③ 6月～8月（第2四半期）では赤字幅を 49 百万円改善し、累計でも前年同期並みの損失に抑えることに成功。
- ④ 不動産事業における新規取得物件の長期借入金に付随する金利スワップ契約の評価損 83 百万円を計上。

連結貸借対照表概要



(百万円)	2019年2月期 期末	2020年2月期 第2四半期末	(百万円)	2019年2月期 期末	2020年2月期 第2四半期末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,388	1,769	流動負債	2,870	3,265
現金及び預金	537	786	買掛金	382	593
売掛金	334	389	短期借入金 ※	1,098	1,337
たな卸資産	183	204	その他	1,389	1,335
その他	333	388	固定負債	6,140	6,410
固定資産	9,910	10,289	長期借入金	4,600	4,823
有形固定資産	7,750	8,114	その他	1,539	1,587
建物及び構築物	3,301	3,156	負債合計	9,010	9,676
土地	3,825	3,825			
その他	624	1,132	純資産の部		
無形固定資産	477	499	株主資本	2,226	2,315
投資その他の資産	1,682	1,675	資本金	1,338	1,437
繰延資産	20	18	資本剰余金	1,268	1,361
資産合計	11,318	12,077	利益剰余金	△305	△406
			自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△31	△32
			新株予約権	11	8
			非支配株主持分	101	109
			純資産合計	2,308	2,400
			負債純資産合計	11,318	12,077

※一年内返済予定長期借入金含む

連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

	2019年2月期 第2四半期	2020年2月期 第2四半期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	343	317	税金等調整前四半期純損失 88百万円 減価償却費325百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257	△686	不動産事業の物件取得等による 有形固定資産の増加 724百万円 差入保証金の差入15百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208	618	長期借入れ734百万円 長期借入金の返済545百万円 短期借入金の純増額249百万円 株式の発行による収入194百万円
現金及び現金同等物の増減額	△123	249	
現金及び現金同等物の期首残高	357	537	
現金及び現金同等物の期末残高	234	786	

セグメント別業績概況



(百万円)

		2019年2月期 第2四半期	2020年2月期 第2四半期	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	6,860	6,400	93.3	3月～5月（第1四半期）の営業利益は前年同期比で68.6%であったが、6月～8月（第2四半期）で前年同期比113.5%、累計で84.7%まで回復。
	営業利益	340	288	84.7	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	998	1,024	102.6	テナントビルの賃貸収入は引き続き堅調に推移し、売上高・営業利益ともに増収増益。
	営業利益	82	98	119.9	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	323	333	103.1	リニューアルにより婚礼件数は順調に増加し、下期では黒字化の見込み。
	営業利益	△13	△8	—	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	446	444	99.6	概ね前年通りで推移。
	営業利益	14	12	85.4	
調整額	売上高	△1,147	△1,141	—	
	営業利益	△454	△424	—	
連結財務諸表 計上額	売上高	7,480	7,062	94.4	
	営業利益	△31	△34	—	



2. 第2四半期 トピックス



売上高

2019年2月期第2四半期
7,480 百万円



2020年2月期第2四半期
7,062 百万円

(前期比 418 百万円の減収)

① 店舗整理による売上高の減少

リニア中央新幹線の工事による立ち退きや、契約期間満了による閉店、戦略的に進めてきたSCの撤退、不採算店舗の整理等による店舗数の減少で約283百万円の減収。

② 店舗休日増加・営業時間短縮の影響

働き方改革に伴い、従業員満足度を向上させるために進めてきた、店舗休日の増加と営業時間の短縮により、実営業時間が減少。

③ 大型店舗の既存店で宴会需要が減少

前期にリニューアルオープンした「かわ屋」業態のオープン景気に対する反動減と、大規模な宴会需要が減少し、大型店舗の既存店で売上高が低下傾向。

既存店収益状況



		2018年				2019年		2019年2月期実績	2019年						2020年2月期第2四半期実績
		9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	
居酒屋業態 (109店舗)	売上高前年同月比	93.7%	103.5%	102.2%	97.2%	97.0%	98.0%	99.1%	92.4%	92.7%	95.2%	90.1%	96.5%	91.7%	93.7%
	来店客数前年同月比	93.2%	103.8%	103.0%	97.2%	99.4%	101.4%	98.4%	95.7%	96.5%	98.4%	93.3%	98.9%	94.1%	96.3%
	客単価前年同月比	100.5%	99.7%	99.2%	100.0%	97.5%	96.7%	100.7%	96.6%	96.2%	96.8%	96.5%	97.5%	97.5%	97.3%
レストラン業態 (8店舗)	売上高前年同月比	100.9%	99.5%	98.8%	99.9%	99.8%	100.9%	98.4%	102.6%	105.0%	101.9%	101.6%	93.9%	99.2%	99.4%
	来店客数前年同月比	102.9%	98.1%	98.1%	100.7%	100.3%	100.2%	97.6%	102.3%	100.3%	99.9%	101.5%	95.0%	99.6%	97.1%
	客単価前年同月比	98.1%	101.4%	100.7%	99.2%	99.5%	100.7%	100.8%	100.3%	104.7%	102.0%	100.1%	98.8%	99.6%	102.3%
カフェ業態 (9店舗)	売上高前年同月比	137.6%	143.4%	146.5%	145.9%	151.7%	129.9%	127.5%	123.1%	122.2%	107.8%	104.8%	98.9%	95.6%	119.1%
	来店客数前年同月比	119.8%	122.5%	124.0%	122.7%	128.2%	120.3%	112.4%	119.0%	117.0%	102.9%	102.5%	102.1%	99.8%	112.3%
	客単価前年同月比	114.8%	117.1%	118.2%	118.9%	118.3%	108.0%	113.4%	103.5%	104.5%	104.8%	102.2%	96.9%	95.8%	106.1%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

レストラン業態・カフェ業態の売上高は堅調に推移

リニューアル店舗は引き続き好調



かわ屋業態のリニューアル店舗 売上高比較

	オープン日	2019年2月期 第2四半期 前年同期比	2020年2月期第2四半期	
			前年同期比	前々年同期比 (リニューアル前比)
博多かわ屋 名駅店	2017年12月4日	210.8%	69.8%	147.1%
博多かわ屋 伏見店	2018年3月1日	357.0%	50.5%	180.3%
博多かわ屋 池袋東口店	2018年3月7日	188.9%	79.5%	150.3%
博多かわ屋 静岡呉服町店	2018年4月10日	115.9% <small>※営業期間4.5か月</small>	88.7%	102.8%
博多かわ屋 金山店	2018年4月18日	110.9% <small>※営業期間4か月強</small>	97.8%	108.5%

新業態リニューアル店舗 売上高比較

	オープン日	2019年2月期 第2四半期 前年同期比	2020年2月期第2四半期	
			前年同期比	前々年同期比 (リニューアル前比)
はかた串 炊き・焼き餃子 きじょうもん	2017年3月7日	139.0%	108.4%	150.7%
和食肉酒場 肉箸	2017年11月1日	130.0%	98.2%	127.6%
金山おでん でーもん	2017年11月9日	142.8%	100.4%	143.4%
海・畑・蔵 チカイチ	2017年11月17日	153.0%	118.0%	180.5%
刈谷餃子工房 つづみや	2018年2月9日	179.5%	96.1%	172.6%

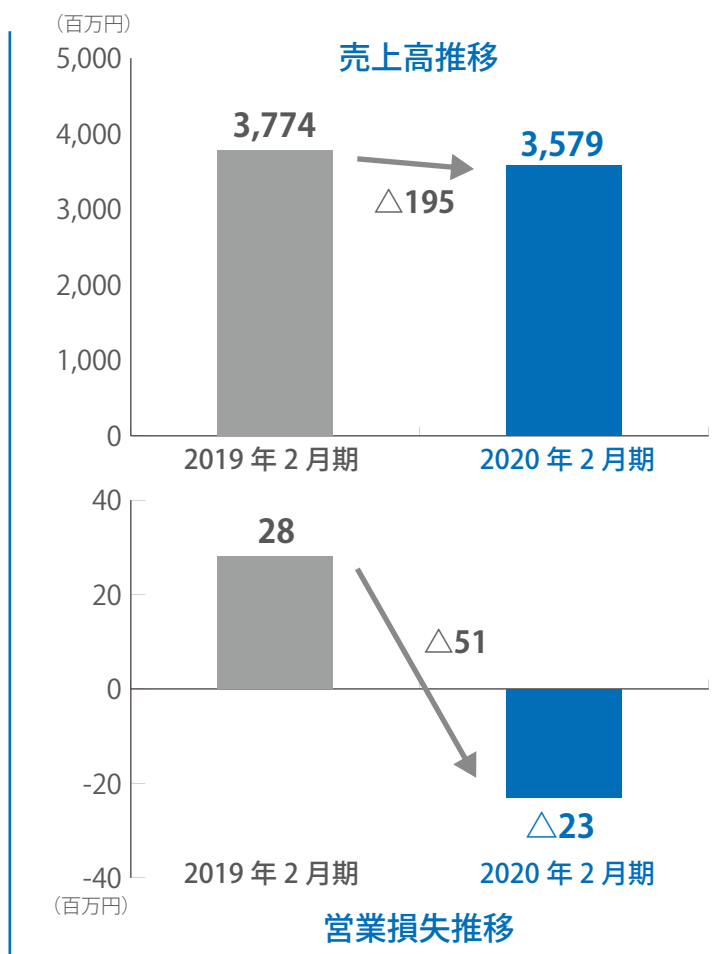
- ・前々期または前期にリニューアルを実施した店舗は、リニューアル直後の爆発的な売上の反動減により、前年（リニューアル直後）と比較すると100%を切る店舗もあるが、前々年（リニューアル前）との比較では引き続き好調に推移。

近年取得・開発した業態が好調に推移し、横展開の準備が完了

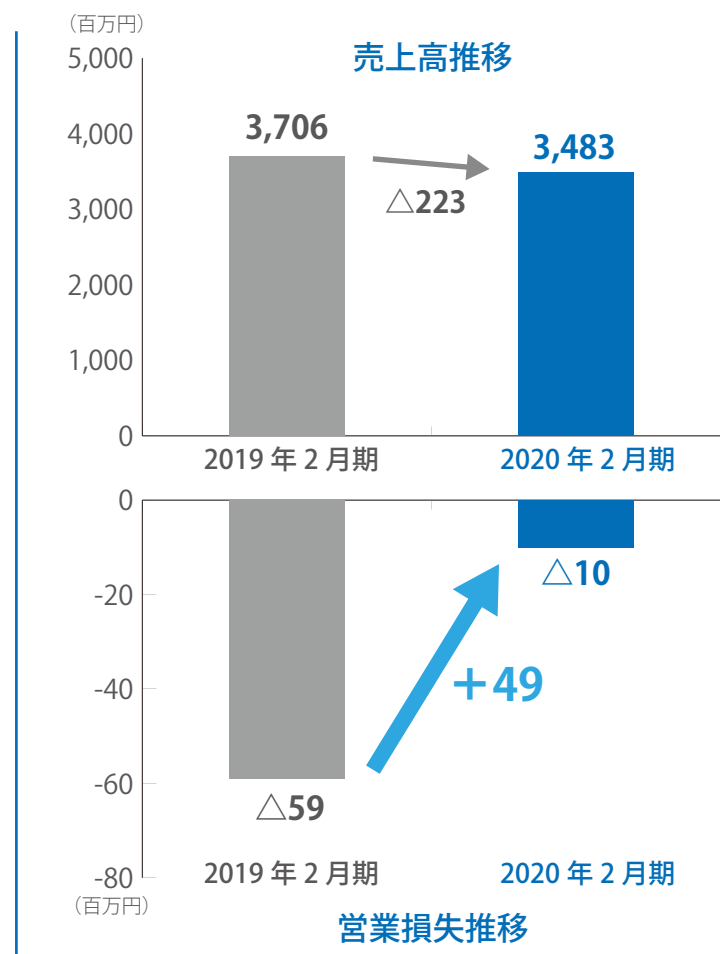
フランチャイズ業態	日本酒業態 (中小型店舗)	専門店業態	女性向け業態
<p>博多 か屋</p> <p>カジュアル系九州業態</p> <p>はかた牛 焼く・焼く餃子 きじょうもん KIJOMON</p> <p>はかた野菜巻き串・とだわり酎ハイ きばくもん KIBAKUMON</p>	<p>マアロ・日本酒 ◇十八バ◇ 光蔵</p> <p>マダロ・日本酒専門 吟醸マダロ</p> <p>チカイチ</p>	<p>でーもん DEMON 金山おでん・串揚げ</p> <p>和食肉酒場 肉著</p> <p>刈谷 餃子工房 KARIYA GYOZA FACTORY</p>	<p>北海道バル 肉・海鮮・チーズ ほろほろ horohoro</p> <p>Mou Mou Cafe</p> <p>HAWAII MANOA VALLEY CAFE</p>

今後、立地・客層にあわせてリニューアルを進める

6月～8月（第2四半期）で営業損失を大幅に改善



3月～5月（第1四半期）



6月～8月（第2四半期）

第1四半期単独では減収・減益となったが、第2四半期単独では減収・増益。
 第2四半期からコスト面の更なる引き締めを進めた結果、営業損失は大幅に改善。
 今後も引き続き収益構造の改革を推進。

新規出店 1 ・ FC 出店 2 ・ リニューアル 8 ・ 閉店 2 となり店舗数の純増 1 店舗

3月

3月1日オープン
北海道バル MOU MOU (R)
愛知県豊田市

3月1日オープン
吟醸マグロ 豊田店 (R)
愛知県豊田市

3月1日オープン
個室焼肉 頂 (R)
愛知県豊田市

3月7日オープン
日本酒 × 発酵 八光 (新)
京都市中京区

3月16日オープン
和カフェ 月のうさぎ (R)
埼玉県志木市

5月

5月24日オープン
MOU MOU バル (R)
静岡市葵区

6月

3月1日オープン
芋蔵 GIRI (R)
愛知県豊田市

3月1日オープン
牛タン酒場 金べこ (R)
愛知県豊田市

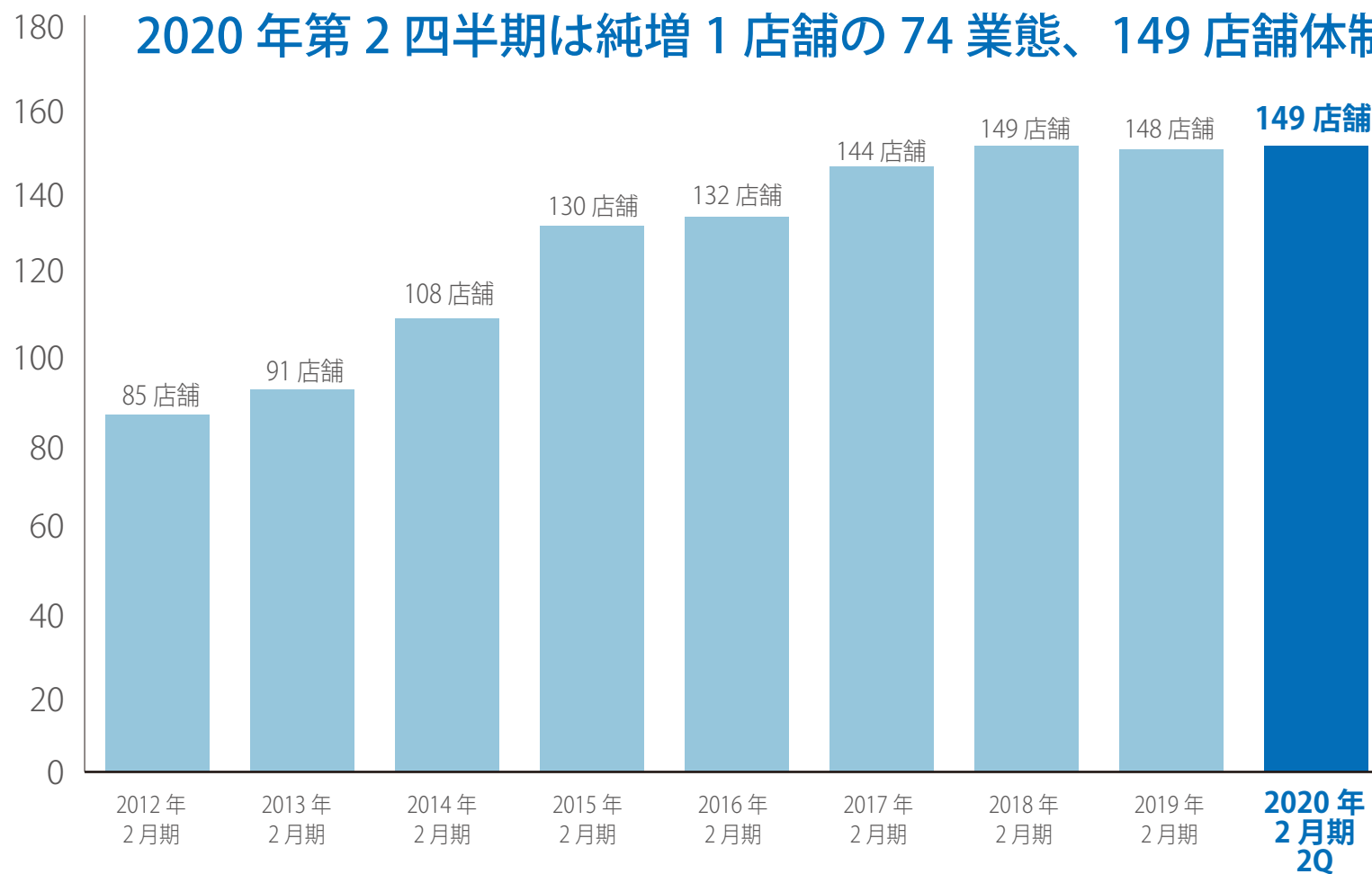
3月5日オープン
博多かわ屋 京橋南口店 (FC)
大阪市城東区

3月7日オープン
博多かわ屋 京都烏丸四条店 (FC)
京都市中京区

6月18日オープン
Mou Mou Cafe 豊橋店 (R)
愛知県豊橋市

引き続きリニューアルによる収益性改善に注力しており

2020年第2四半期は純増1店舗の74業態、149店舗体制



一括借り上げを行っている飲食ビル G-SEVENS 豊田の 5 店舗を一括リニューアル

6F



個室焼肉「頂」

お肉の専門店『肉のすぎもと』監修の焼肉店で
尾張牛と黒毛和牛はじめとした厳選したお肉をお楽しみいただけます。

5F



牛タン酒場「金べこ」

肉汁たっぷりのやわらかな食感の仙台名物の牛タンや、
東北地方から厳選した日本酒が堪能していただけます。

4F



マグロ・日本酒専門「吟醸マグロ 豊田店」

日本酒を自由に飲み比べできるお店。名物のマグロ刺身盛り合わせなどを
一人前からご注文いただけます。

2F



焼酎酒場「芋蔵 GIRI」

名物の博多野菜巻き串はじめ九州各地の名物料理と九州を中心に、
約 200 種類の厳選した焼酎をセルフの飲み放題で自由に飲み比べいただけます。

1F



北海道バル「MOU MOU」

北海道をテーマにしたお肉とチーズと海鮮のお洒落なカジュアルバル。
北海道産生クリーム使用のインスタ映えするスイーツ、ソフトクリームもおすすりめです。



G-SEVENS 豊田

3 月に 2 店舗の FC 出店を実施

3月

3月5日オープン **20 店舗目**
博多かわ屋 京橋南口店（FC）
大阪市城東区



（※南海電鉄グループ様出店店舗）

3月7日オープン **21 店舗目**
博多かわ屋 京都烏丸四条店（FC）
京都市中京区

➡ オープン後の売上高も好調に推移

京橋南口店、京都烏丸四条店の両店ともにオープン後の売上高は好調に推移。

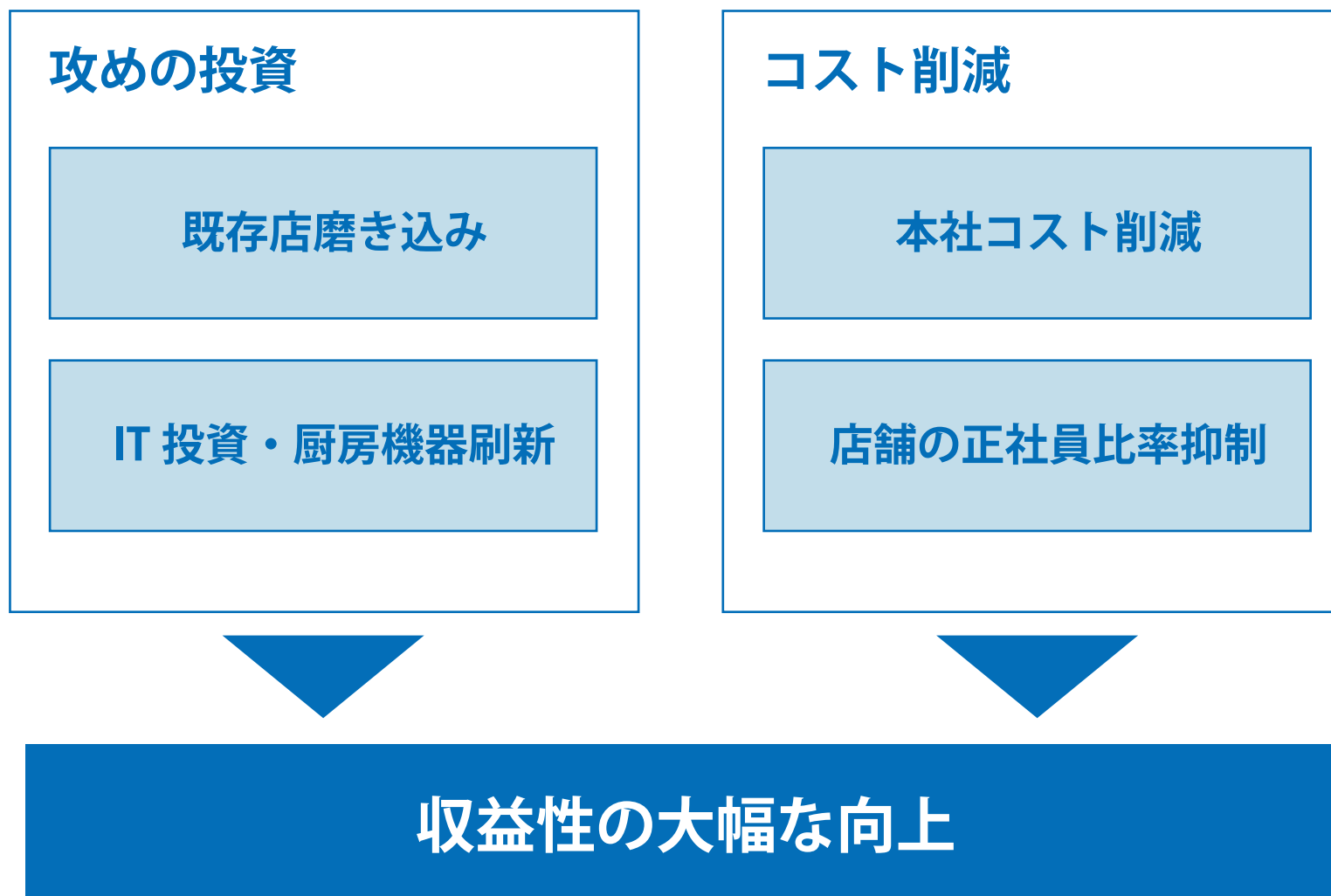
➡ 強力なパートナーと複数出店を促進

南海電鉄グループ様は、10月25日に大阪の難波で2店舗目を出店（予定）。引き続き複数店舗での展開を検討中。



3. 今後の取り組み





商業ビル



ダイヤモンドウェイ



G-SEVENS 刈谷



ジェイチル名駅



j G 金山

レジデンス



ジュール則武



ジュール亀島

レジデンス兼物流センター



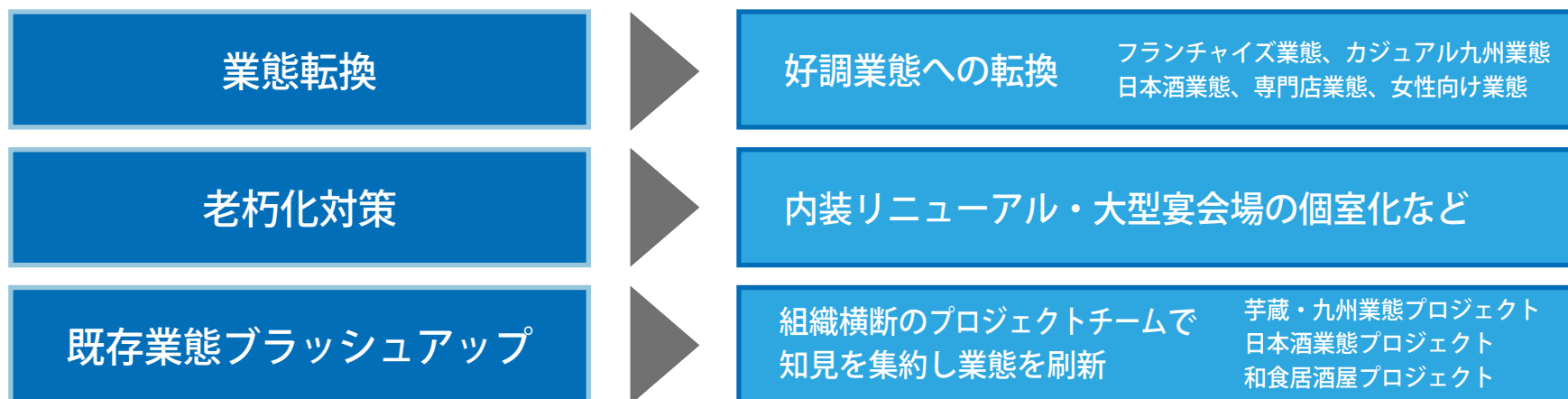
ジュール広川・物流センター

ジェイグループでは商業ビルを始めとした優良な不動産を所有



所有する不動産の売却や証券化など借入に頼らない資金調達を行い、リニューアル等へ投資資金とする。

1 既存店の磨き込み



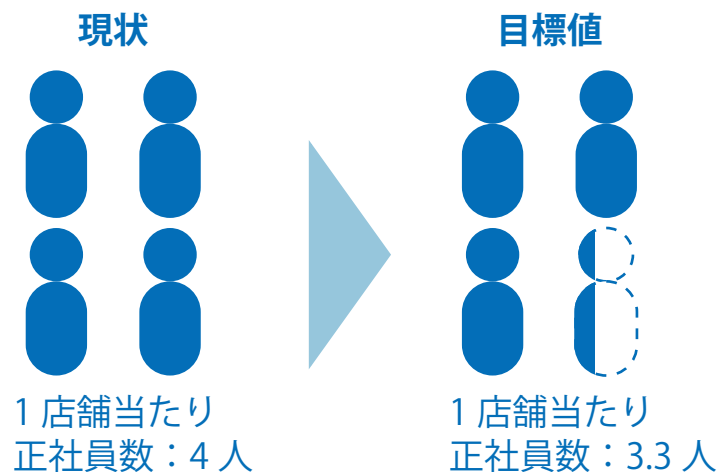
2 IT投資・厨房機器刷新



1 本社コスト削減



2 店舗の正社員比率抑制



正社員の自然減と採用抑制により、現在1店舗あたり4人の正社員数を3.3人までおさえる。前述のIT投資や厨房機器の導入、プロセスの改善でアルバイト店員でも対応可能な業務を増やし、アルバイト比率を向上させる。

下期に 2 店舗の FC 店舗、1 店舗の直営店舗を出店

10月

10月25日オープン **22 店舗目**
博多かわ屋 南海なんば店 (FC)
大阪市浪速区



(※南海電鉄グループ様出店店舗)



南海電鉄グループ様 2 店舗目の出店

京橋南口店が好調に推移していることから、早期に南海電鉄グループ様が 2 店舗目を出店。引き続き複数店舗をご検討頂き、3 店舗目についても前向きに検討中。

12月

12月オープン予定 **23 店舗目**
博多かわ屋 すすきの店 (FC)
札幌市中央区



新規フランチャイジーを獲得し 北海道に初出店

かわ屋の業態力にご期待頂き、北海道の企業が新たにフランチャイジーとして加盟。

12月

12月オープン予定 **24 店舗目**
博多かわ屋 駅西店 (新)
名古屋市中村区



かわ屋インターナショナルの 直営店舗として新規出店

「かわ焼き」の品質向上のため、出店ペースを調整していたが、下期より積極出店を再開。

今後の出店・リニューアル



現時点で新規出店2・FC出店2・リニューアル3を予定

10月

10月25日オープン
博多かわ屋 南海なんば店 (FC)
大阪市浪速区

11月

11月オープン予定
大治郎 (新)
スペインバルセロナ

12月

12月オープン予定
博多かわ屋 すすきの店 (FC)
札幌市中央区

12月オープン予定
博多かわ屋 駅西店 (新)
名古屋市中村区

1月

1月オープン予定
爽鶏屋 静岡呉服町店 (R)
静岡市葵区

1月オープン予定
四七四七につぽん 刈谷店 (R)
愛知県刈谷市

2月

2月オープン予定
爽鶏屋 金山店 (R)
名古屋市熱田区

(新)：新規出店 (R)：リニューアル (FC)：フランチャイズ

大規模プロジェクトが来期稼働へ向けて進行中



ビル3棟・飲食店を中心としたテナント40店舗の大規模商業施設を開発中 南北の道路まで貫いた横丁エリアで地域を活性化し新しい街づくりに貢献



名古屋で一番の繁華街 栄の錦エリアで駅から歩いてすぐの好立地

名称	Jアセット錦ビル（仮称）
所在地	名古屋市中区錦3丁目
敷地面積	北・中棟 / 469.20 m ² 南棟 / 104.50 m ²
階数	北・中棟 / 地下2階 地上9階 南棟 / 地下1階 地上3階
総テナント数	40店舗（予定）



南北に3棟を突き抜ける高さ5m長さ70mの壮大な横丁エリア



今期の業績見通し



(百万円)

	2019年2月期 通期実績	2020年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	15,056	15,100	100.3
営業利益	△51	118	—
経常利益	15	145	830.1
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	61	26	42.4
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。